

広報

おおの

もっと大野が 好きになる

4

2026 No.970



特集

学び舎の

新たな一歩

この春、有終南小学校と小山小学校、富田小学校と阪谷小学校を統合し、市内小学校は9校から7校になりました。令和6年4月の中学校再編に続く今回の小学校再編により、本市の教育環境が新たなステージに進みます。

今回の再編は、地域住民や保護者、学校の関係者などで構成する再編準備委員会が、2年の歳月を駆け進めてきました。その取り組みは、学用品の取り扱いや通学方法の検討、事前交流の実施など多岐にわたります。

豊かな自然と美しい景観に育まれてきた小山小学校と阪谷小学校。そこには、地域の皆さんの温かな眼差しに見守られ、歴史や文化に誇りを感じながら成長した子どもたちの笑顔がありました。

そして、その大切なバトンを受け取った有終南小学校と富田小学校。新しい環境に身を置く子どもたちは、多様な仲間と手を取り合い、それぞれの夢に向かって力強い一歩を踏み出そうとしています。統合に込められた「子どもたちの幸せ」を願う切なる思いを紹介します。

※記事中の所属・学年は3月時点のものです

☎ 教育総務課（64・4827）



小山小学校最後のマラソン大会。

雲一つない青空に響いた「よーいどん」の合図とともに、元気いっぱいの子もたちが力強く駆けだしました。

小学校の改修の取り組み

小学校再編を契機に、有終南小学校と富田小学校の校舎と体育館を令和7年度から改修しています。建物の寿命を延ばす保全改修に加え、教育環境の充実や生活環境の向上などを旨とした改修を行っており、令和8年度に完了予定です。その一部を紹介します。

有終南小学校



教室



教室前廊下

教室や廊下などを改修しました。黒板はホワイトボード、照明はLEDに更新。新しいロッカーや磨き直した床で明るく快適な空間になりました。教室の大きな扉を開けると、教室と廊下が一体となり、より大きな空間になります。窓は複層ガラスとなり空調効率が向上。今後はエレベーター棟や特別教室、職員室の工事を始めます。



学年室

富田小学校



6年生教室



図工室



理科室

教室や理科室、図工室などを改修しました。6年生教室と特別支援学級を移動し、LED照明や新しいロッカー、複層ガラス窓などを整備し、床を磨き直しました。理科室も移動し、カラフルな実験台を整備。図工室を2階に移動し、明るい空間に生まれ変わりました。今後は多目的室や体育館の工事を予定しています。



小山小学校

創立150年の歴史を刻み、地域と共に歩んできた小山小学校。最後の一年は、未来をつくる特別な時間となるよう、児童や職員がより一層思いを一つにし歩んできました。



全校で飯降山に登頂した「いふりっこ登山」。おにぎりに模した石を山頂に置きました

特に心に残っているのは「いふりっこ登山」や体育大会など、全校が一致団結して取り組んだ行事です。いふりっこ登山では下級生の様子も見ながら飯降山に登り、全学年が無事登頂できました。
小山小学校で学べて良かったと思ふことは、地域の人と関わり合えたことです。学校の畑で取り組んだ野菜作りでは、地域の人にコツを教えてもらいながら育てました。学年が上がるにつれ知識が身に付き、慣れない下級生に教えることもできました。
春から有終南小学校に行く下級生には、自分から積極的に周りに声を掛け、たくさん友達をつくってほしいです。



6年生
印牧新汰さん



創立150周年を記念して保護者や地域の人たちとつくった大きな人文字

子どもたちと職員が共に「小山で良かった」と思えるよう、毎日を大切に歩んできました。創立150周年の節目でもあり、学校キャンペーン文字づくりなどのさまざまな行事を、保護者や地区の皆さんと協力して実施しました。
本校の良さは、上級生が優しく下級生の面倒を見ることが自然とできることです。有終南小学校でもこの長所を生かして友達をたくさんつくってください。
保護者や地区の皆さんには、子どもたちがより大きな学校の中で学び合い、たくましく成長していくための新たなスタートだと捉え、温かく応援してもらえるとうれしいです。



校長
廣瀬智之さん



夏の思い出に行ったナイトプール&学校キャンプでは子どもたちの笑顔が弾けました

当初は統合に向けた心配事がありましたが、各区長さんをはじめとしたたくさんの方々の協力のおかげで、滞ることなく進めることができました。
子どもたちにとっては学校の規模が大きくなり、いろんな考え方や価値観に出会える機会になると思います。これまで以上に大きく成長してほしいです。これからは、大野地区の行事に参加してみるのも、楽しみが広がり良い機会になると思います。
有終南小学校の皆さん、ぜひ小山小学校の子どもたちからいろんなことを吸収して、一緒に成長していただきたいと思います。そしてぜひ小山地区にも遊びに来て、楽しそうな声を聞かせてください。



新有終南小学校
再編準備委員会委員長
齋藤雅彦さん



阪谷小学校

2844人の卒業生を送り出してきた阪谷小学校(昭和22年度以降)。美しい星空や棚田に囲まれた学び舎で、たくさんのお子もたちの笑顔が輝き続けてきました。



30年間続いた「ドロリンピック」。大人も子どもも笑顔で泥まみれに

田中：昨年から少しずつ富田小学校で一緒に授業を受けてきました。いろんな人と意見交換をする中で、自分が気付かなかった視点に出会い、多くの学びがありました。下級生には、「分からない」をそのままにせず、先生や友達に積極的に質問して、楽しく学校生活を送ってほしいです。林・ドロリンピックや星空をテーマにした学習など、阪谷だからこそできた授業が特に心に残っています。学年を越えて協力する場面が多かったことも阪谷小学校の良さだと思います。下級生には、新たな挑戦を重ねながら、これまで学んできた「自然を守る活動」を富田小学校にも広めてほしいです。



6年生 田中美星さん、林春香さん



子どもたちが企画した「さかだにあおぞらバスツアー」。阪谷の魅力が詰め込みました

本校の魅力は「豊かな学びの場がたくさんある環境」であり、地域や保護者の皆さんをはじめ、多くの方々の協力の下に成り立っていたことに改めて感謝しています。「星空」を一つの軸に、環境教育や体験活動、地域の魅力発見など多様な学びを展開できたことも本校の特色でした。最後の一年は「笑顔かがやく阪谷翔楽校」をスローガンに掲げました。統合をきっかけに、未来に向けて羽ばたいていこうという願いを込めました。子どもたちには「いつも夢を持って生きていこう」と伝えてきました。本校での学びを忘れず、そこに富田小学校での学びをプラスして、大きく成長して欲しいです。



校長 芦原邦弘さん



令和5年8月に認定された「星空保護区®」。認定に向けて学校を上げて協力しました

統合は、子どもたちの将来を地区全体で応援する取り組みだという思いを胸に準備を進めました。より大きな集団の中で生活し、いろんな価値観の中に身を置くことが子どもの成長には必要だと思います。保護者の皆さんには、新しい環境で悩みや不安を抱える子どもたちの心の支えになってもらえるとうれしいです。また、統合は大人にとっても交流が広がる新たなスタートです。同じ学校の仲間として富田小学校をより良い学び舎にしていってほしいと思います。富田小学校の皆さん、阪谷の子どもたちをどうぞよろしくお祈りします。



新富田小学校再編準備委員会委員長 須原祥量さん

新たな一歩を 共に



5年生 松田 穂さん

楽しみにしていることは、阪谷小学校のみんなとマラソン大会で一緒に頑張ることです。励まし合って一秒でも速く走りたいです。修学旅行も楽しみです。旅行当日だけでなく



5年生 辻 穂華さん

有終南小学校は校庭に芝生があって、はだしで走り回ったりのリんびりと日向ぼっこをしたりできます。また、明るいあいさつが学校中に響いていることも有終南小学校の良いところだと

思います。

この春からは、小山小学校のみんなと一緒に、芝生で思いっきり遊んだり、新しくなった教室で授業を受けたりするのが楽しみです。

小山小学校のみんなには、いろいろな人に話し掛けて、いろんな考え方に触れていってほしいです。たくさんの人の中で最初は緊張することもあると思いますが、一緒に楽しい思い出をつくりましょう。

く、準備の時からたくさん思い出をつくりたいです。

阪谷小学校との交流の時には、最初は緊張したけれど、休み時間に話し掛け、友達になれました。

富田小学校では、運動会や「すきすき大集会」など全校で協力する行事が多いので、阪谷小学校のみんなにはたくさん友達をつくってほしいです。一緒に学校生活を楽しみたいしょう。

※探究活動の成果を全校で発表する会



校長 明石和典さん

皆さんからのさまざまな支援のおかげで、統合への歩みを進めることができました。大変感謝しています。本校の良さは、周りの意見を隔たりにくく受け入れる力が子どもたちに



校長 富田 啓明さん

本校では「子どもたちが自己表現できる授業」を目指しています。児童が自分の言葉で考えを伝えあう時間を大切にしています。

令和6年度まで阪谷小学校の教頭

身に付いていることです。小山小学校との交流の際もすぐに打ち解けていました。

これから小山小学校の素敵な雰囲気加わり、本校がどんな学校になつていくのか楽しみです。小山小学校の子どもたちにはその原動力になつてもらいたいです。

小山地区の皆さんにも「有終南小学校で良かった」と思ってもらえる学校を目指します。これからも本校をよろしく願います。

を務め、その良さをたくさん知っています。これからは阪谷小学校の良さ本校の良さを掛け合わせ、より明るい学校を築いていきたいと思つます。

阪谷小学校の皆さん、富田小学校の友達と一緒に学び一緒に遊び、共に成長していきたいしょう。学校の発展には保護者の皆さんの協力が欠かせません。これからも本校をよろしく願います。



小山小学校と有終南小学校の子どもたちが交流した昨年12月の「南っ子秋の大集会」。両校の子どもたちが、「大野の未来を考える」をテーマにしたゲームを考え出店しました。そこには学校や学年の垣根を越えて笑い合い、学び合う子どもたちの姿がありました。



「ありがとう」と「よろしく」をカバンに詰めて



阪谷小学校と富田小学校の交流の場「富阪交流会」が、昨年度は計4回行われました。共に授業や委員会活動を行ったほか、全校児童が協力するレクリエーションも催されました。固く結ばれた子どもたちの手と手からは、新富田小学校の明るい未来が感じられました。



教育長から児童の皆さんへ ～ 優しく、賢く、たくましく ～



教育長 久保俊岳

春の風がやさしく吹き、桜の花が咲き始める季節になりました。新しい学年、新しい教室、そして新しい出会いが皆さんを待っています。

大野市は、2年前に中学校が2校になり、今年の4月から小学校も新有終南小学校と新富田小学校が誕生し新しい形でスタートしました。これはこの2校だけでなく、大野市の全小学校が未来に向かって新しく一步を踏み出す大切な節目であると考えています。児童の皆さん一人一人がその主役です。

学校が変わることは、学びの場がもっと楽しく、もっと分かりやすく、そしてもっと安心できる場所になるということです。新しい友達との出会い、先生との新しいつながり、そして自分の「やってみよう！」を見つけるチャンスがたくさん待っています。

変わることは少しドキドキするかも知れませんが、でも春のように温かく明るい未来が目の前に広がっています。皆さんが楽しく学び、のびのびと成長できるように心を込めて準備をしてきました。

大野市教育理念にうたわれる「優しく、賢く、たくましい大野人」に成長してくれるよう心から応援しています。

大野の予算を見てみよう

将来像「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結

のまち」を実現するための、本年度の主な取り組みと当初

予算の概要を紹介します。(本号の予算内容は、令和8年度

当初予算案として、3月市議会定例会に提出した内容です)

令和8年度の予算について

本年度は、市の最上位計画である「第六次大野市総合計画」の「後期基本計画」がスタートする、非常に重要な節目の年です。

対策」と「減少に適應する対策」の両面を力強く推進し、これまでの成果をさらに発展させていきます。

物価高騰や人件費の上昇など社会情勢の変化が激しい中であっても、皆さまの暮らしと未来を守るため、限られた財源を最大限に活用し、持続可能な市政運営に努めます。具体的には、

市民、団体、企業の皆さまと心を一つに、誰もが大野を好きになり、イキイキと幸せを実感できる「人がつながり地域がつながる 住み続けたい結のまち」の実現に向け取り組んでいきます。

中部縦貫自動車道の延伸を生かした産業の活性化、若者や女性がつと活躍できる環境づくり、そして安全・安心な暮らしの確保などを重点的に進めていきます。

人口減少という大きな課題に対し、「人口を維持する



大野市長 石山志保

高速交通網の延伸を生かした

稼ぐ力の向上

中部縦貫自動車道の県内全線開通を見据え、人や物の流れ、生活環境が変わることを想定し、産業ブランド力の強化や観光誘客の推進など、地域や事業者の稼ぐ力の向上に取り組めます。

稼ぐ力応援事業 1248万円

新しいビジネスの創出や商品の高付加価値化などに取り組む事業者を支援

- ・新たな産業戦略を策定【臨時】
- ・地域資源や市の産業の魅力を発信するイベント開催を支援【新規】

稼ぐ観光地づくり応援プロジェクト事業補助 274万円

地域資源を生かした観光地の魅力向上に取り組む事業者を支援

- ・雪や星空、名水など大野ならではの資源を生かした魅力あるコンテンツの開発を支援【新規】

ふるさと納税推進事業 1億8383万円

ふるさと納税を推進し、市の特産品などのPRと寄付額の増額を図る

- ・市内の返礼品提供事業者の生産力向上につながる設備投資を支援【新規】

特産作物ブランド力強化事業補助 693万円

穴馬スイートコーンや穴馬かぶら、サトイモなどの特産作物の栽培や出荷を支援



子どもや若者を

まち全体で支える取り組み

まち全体が子どもや若者を応援し、子どもや若者が未来の担い手として成長できるよう取り組みます。

新規 みんなが喜ぶおいしい給食事業 1億7561万円

地元食材を積極的に活用した、おいしく、みんなが喜ぶ小学校給食を無償化。中学校給食は物価高騰分を市が負担し、引き続き保護者負担の抑制を図る

小中学校施設改修事業 3億9063万円

小中学校の学習環境改善のための改修工事を実施
※令和7年度3月補正予算で12億2358万円の事業費を前倒しで計上
・有終南小学校と富田小学校の改修工事
・中学校2校の体育館の長寿命化改修工事と空調設備設置工事

新規 ふるさとおおのジョブ探究事業 72万円

地元企業で働く社会人を講師として招き、高校生が地域の仕事を知り、将来の選択として大野で働くことを意識できるプログラムを開催

新規 若者交流拡大促進事業 191万円

若者の挑戦を地域全体で支えるため、若者グループが企画する交流イベントの開催を支援し、市内外の若者交流の促進や地域の魅力発信を図る

子育てにやさしいまち大野情報発信強化事業 68万円

暮らしやすさや保育・教育環境などの本市の魅力を発信
・若者や女性、移住者の視点を取り入れた結婚・子育てプロモーション冊子を新たに制作【臨時】



若者グループ「結リンク」

人づくりと人材確保



(仮称) 乾側地域交流センター



市民の自主性や主体性を育てるとともに、多様性を尊重し、あらゆる分野において、人材の育成と確保に取り組みます。

市民協働による住民自治の促進 1580万円

「市民協働によるこれからの住民自治の方針」に基づき、住民自治を推進
・各地区の地域活性化などの取り組みを支援
・市民協働による住民自治を推進するため、アドバイザーを活用【臨時】

旧乾側小学校等跡地活用事業 2億9753万円

旧乾側小学校等跡地を活用し、(仮称) 乾側地域交流センターを整備(令和8年秋オープン予定)

男女共同参画プラン推進事業 62万円

男女共同参画を推進するため、市民への啓発・研修事業を実施
・幅広い世代や親子が気軽に参加できる男女共同参画の啓発イベントを開催【新規】

安全・安心・快適な暮らしの確保

健康づくりの促進や地域共生社会の推進、道路の安全、多様な移動手段の確保、防災力・防犯力の強化などにより、誰もが安全・安心で快適に暮らせるよう取り組みます。

健康づくり応援事業 2081万円

歩くことを通じた健康づくりとして、ヘルスウォーキングプログラムを実施

各種大会開催事業 492万円

スキー大会や相撲選手権、駅伝大会など各種スポーツイベントを開催
・スポーツ・レクリエーション祭をリニューアルした「大野市スポーツフェスティバル(仮称)」を開催【新規】

鳥獣害のない里づくり推進事業 4305万円

有害鳥獣の捕獲や被害防止対策を実施
・クマ出没対応に関する実施隊への報酬単価を引き上げ【拡充】

道路施設の長寿命化 4億8837万円

市道の安全が確保され、誰もが快適に移動できるよう、市道の補修や改良、きょうりょう橋梁の定期点検などを実施



脱炭素化の推進と気候変動への適応

市民や事業者、行政が高い環境意識を共有し、カーボンニュートラルの実現に向けた再生可能エネルギーの地産地消や公共施設の脱炭素化、気候変動への適応策に取り組みます。

ゼロカーボン推進事業 188万円

事業所や家庭などを対象とした脱炭素化の啓発を実施
・おおの環境フェアにおいて、イベント向けCO₂フリー電気を使用することで、取り組みを市民に広く周知【臨時】

公共施設LED照明導入業務 債務負担行為(令和9~18年) 2241万円

市内11施設の照明を新たにLED化



行財政運営の最適化の推進

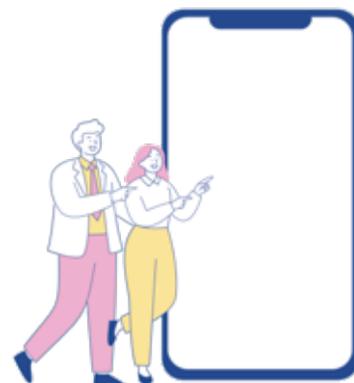
人口減少時代においても必要な行政サービスを維持するため、デジタル技術の活用による業務効率化や公共施設等の適正配置、市有財産の有効活用などに取り組みます。

臨時 公金収納のデジタル化 172万円

公金収納のデジタル化(スマートフォンやパソコンなどで公金の支払いを可能にする)を推進

行政連絡事務嘱託員経費 2910万円

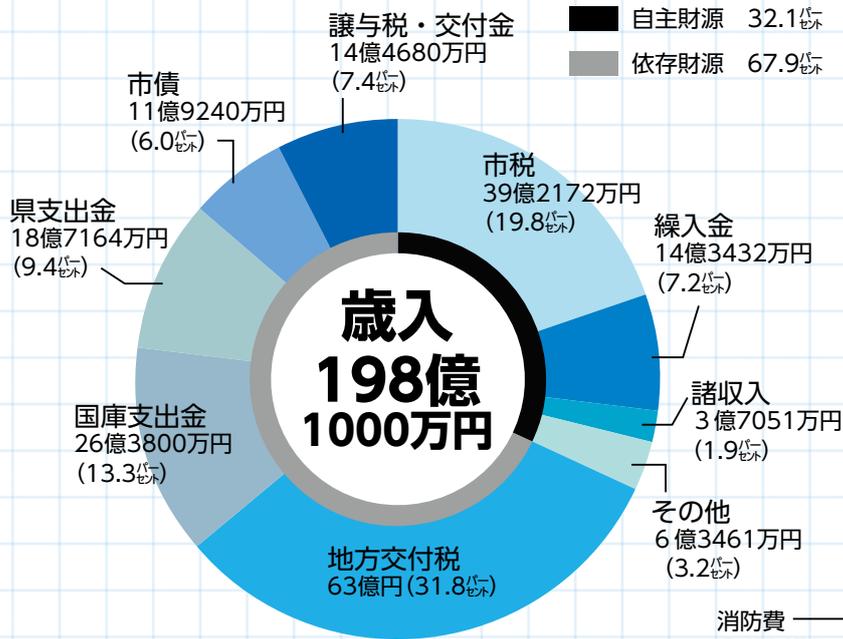
各行政区の区長に行政連絡事務を委嘱し、円滑な市政運営を図る
・市民の利便性の向上や区長の行政連絡事務の負担軽減のため、電子回覧板の実証実験を実施【臨時】



数字で見る今年度の予算

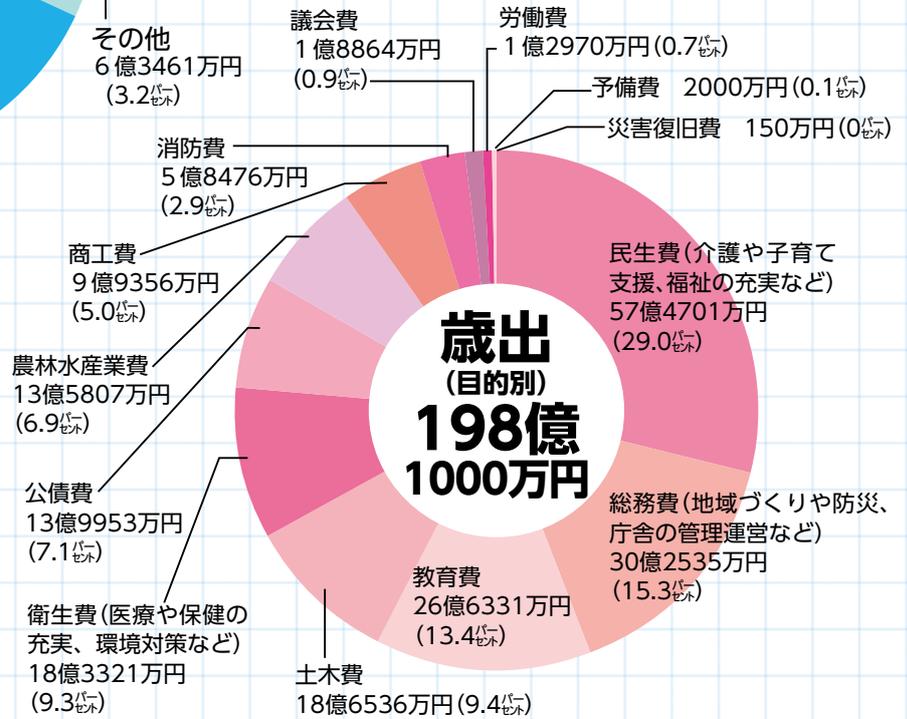


一般会計の内訳 198億1000万円 (前年度比-2.2%、4億5500万円減)



- ・ 個人所得の増加に伴い市民税が増加しているため、市税収入は約3000万円増加しています
- ・ 小中学校の改修工事など、一部の大型事業は継続していますが、前年度より事業費が縮小したことで、前年度と比べ市債発行額は約6億円減少しました

- ・ 市道の改良や橋梁補修工事の増額により、土木費が約2億円増加しました
- ・ 小学校給食無償化と小中学校給食の公会計化を実施する一方で、小中学校の改修工事費を前倒したことにより、教育費が約3億円減少しました
- ・ 大野・勝山広域行政事務組合が行うビュークリーンおくえつ基幹的設備改良工事が完了し、工事負担金の支出がなくなったため、前年度と比べて衛生費が約7億円減少しました



企業会計の内訳

民間企業と同じように、事業で収益を得て運営している会計です

事業名	予算額	対前年度比
水道事業	2億4706万円	-31.2%
簡易水道事業	1億8496万円	-25.2%
下水道事業	29億9772万円	8.6%
合計	34億2974万円	1.9%

特別会計の内訳

特定の収益があり、一般会計とすみ分けて整理することで収支を明確にした会計です

事業名	予算額	対前年度比	
国民健康保険事業	29億2713万円	-2.7%	
和泉診療所事業	7598万円	3.1%	
後期高齢者医療	6億7745万円	13.8%	
介護保険事業	保険事業勘定	42億2912万円	-0.2%
	介護サービス事業勘定	1113万円	-8.4%
合計	79億2081万円	-0.1%	



令和8年度 新規参加者募集

おおのヘルスウォーキングプログラム2026

健康長寿課 ☎65・7333

毎日の歩数や健康づくりイベントへの参加でポイントがたまる「おおのヘルスウォーキングプログラム」。たまったポイントは、最大3000円分の商品券と交換できるほか、市内協賛店の景品が当たります。今年こそ健康習慣を始めてみませんか。

対象 令和9年3月31日現時点で満30歳以上の市民

定員 300人程度(先着)

申込期間 4月1日(金)～5月8日(金)

その他 参加決定者には、5月下旬に通知を送付します

継続参加の皆さんへ

既に参加している人は、手続き不要で自動継続となります。中止を希望する場合のみ、4月24日(金)までに健康長寿課へ連絡してください。

お得な紹介ポイント

プログラムを家族や友達に紹介すると、紹介した人、紹介された人共にポイントを付与します



選べる2つのコース

◆活動量計コース

参加料 1000円

参加方法 専用の活動量計で計測(活動量計は進呈)

申込方法 電話か専用フォームで申し込む(☎64・4147)



◆アプリコース

参加料 500円

参加方法 スマートフォンの専用アプリで計測

申込方法 専用フォームで申し込む



▲申し込みはこちら

プログラムの3ステップ

①申し込み・説明会に参加する

プログラムに申し込み、初回説明会に参加してください。活動量計や参加IDを渡します。説明会の日時は下の通りです。

②歩く(期間：6月～令和9年1月)

活動量計やスマートフォンを身に着けて歩いてください。また、期間中に体組成計の測定や対象のイベントに参加するとポイントがたまります。

③景品をもらう(令和9年3月)

年齢やたまったポイントに応じて、次の特典があります。

◆64歳以下の人

抽選で景品が当たります。ポイントをためるほど当選確率が上がります

◆65歳以上の人

ためたポイントに応じて全員に景品を進呈します

※80歳以上の人はさらにボーナスポイントが加算されます



◆説明会日程

活動量計コース			アプリコース		
日程	時間	番号	日程	時間	番号
6月11日(金)	午前9時～9時45分	1	6月11日(金)	午後7時～7時45分	7
	午後1時30分～2時15分	2	6月13日(日)	午前11時～11時45分	8
6月12日(土)	午前9時～9時45分	3	※会場は全て結とぴあです。申し込み時に第2希望までを番号で選んでください		
	午後1時30分～2時15分	4			
	午後7時～7時45分	5			
6月13日(日)	午前9時～9時45分	6			

イベントで魅力を発信

越前おおの魅力発信支援事業補助金

本市の地域資源や産業の魅力を広く発信する市内事業者の取り組みを支援します。

対象者 市内に事業所がある法人または個人

対象事業 観光誘客や市内での消費の促進、商店街のにぎわい創出などを目的とした稼ぐ力の向上につながるイベント

※他の補助金の交付を受けている、または交付が見込まれている事業は対象外

補助額 上限15万円(補助率2分の1)

応募方法 事業者名や事業概要などを

事業者の省エネ投資を応援 中小企業者等省エネ設備導入支援事業補助金

市内事業者の経営力強化とエネルギーコストの削減を図るため、省エネ設備の導入費用を補助します。

対象者 市内に事業所があり、市税などの滞納がない事業者

対象設備 事業所の運営に必要な省エネ設備(例…LED照明、高効率空調、冷凍冷蔵設備など)

※結のECO協賛店での購入が条件となります

補助額 上限100万円、下限25万円(補助率2分の1)

添えて電子メールで申し込む

応募締切 4月30日

その他 ・補助要件や詳細な応募方法などは市ホームページを確認してください

・プレゼンテーション審査で補助金の採択を決定します

産業政策課(☎64・4816)
電子メール sangyo@city.fukui-ono.lg.jp



▲詳しくはこちら

申請期間 4月15日(金)～7月31日(金)

※予算額に達し次第、受け付け終了

申請方法 市ホームページにある交付申請書に必要な書類(導入する設備の性能を証明する資料など)を添えて産業政策課(市役所1階⑧番窓口)へ提出

産業政策課(☎64・4816)



▲詳しくはこちら

講演会 & 説明会

幸せな大野市のまちづくりへ

～ 第六次大野市総合計画後期基本計画とウェルビーイング ～



4月から後期基本計画に基づくまちづくりがスタートします。後期基本計画やウェルビーイングへの理解を深め、幸せなまちを皆さんとつくっていくきっかけとするため、計画の内容や新たに取り入れた視点「ウェルビーイング」について紹介します。ぜひ参加してください。

日時 4月20日(木)午後7時～8時30分

場所 結とぴあ

テーマ(講演者)

- ①第六次大野市総合計画後期基本計画の概要 (市長 石山志保)
- ②福井県におけるウェルビーイングの取り組み (県知事公室幸福実感ディレクター 飛田章宏さん)
- ③地域のウェルビーイングの潮流と実践 (福井県立大学地域経済研究所 准教授 高野翔さん)

定員 100人(先着)

参加料 無料

申込方法 電話か専用フォームで申し込む

※複数人分をまとめて申し込みます

申込締切 4月20日(木)正午

政策推進課(☎64・4824)

申し込みはこちら▶



高野翔さん

ウェルビーイングを深める「居場所と舞台」に着目した研究とまちづくりに取り組む。国際協力機構でアジア・アフリカ約20カ国の地域づくりを担当し、ブータンでは国民の幸福を重視した国づくりに協力。2020年より福井県立大学地域経済研究所に勤務。

大野市消防総合訓練

消防業務への理解を深め、火災予防の意識向上を図るため、消防総合訓練を開催します。

どなたでも見学できるのでぜひ来場してください。

日時 4月12日(日)午前10時～11時35分
場所 城下町南広場(市役所周辺)
実施内容

- ・**分列行進** はしご車や救助工作車、救急車などの車両が隊列を組んで行進します

- ・**消防訓練** はしご車を使った救助や消防車による放水、防災ヘリコプターによるダイナミックな救出訓練を実施します

- ・**一斉放水** 消防団員による20口の一斉直上放水と「まとい」の演舞を行います

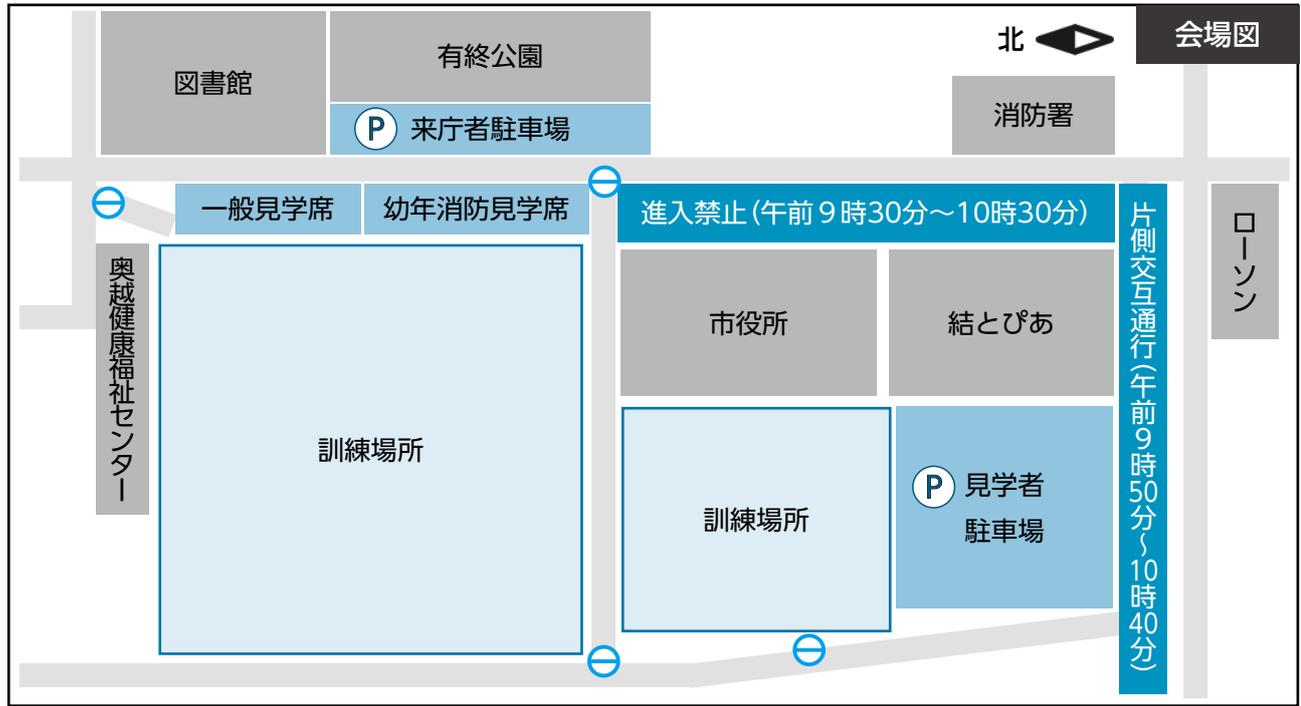
- ・**一斉曲水** ヒット曲に合わせて消防士が放水演舞を披露します

注意事項 訓練当日は会場への立ち入りを規制します。訓練を見学する人は、結とぴあ西側駐車場を利用してください

☎ 消防署警防課 (64・48998)



▲詳しくはこちら



「大火記念日」市内一斉広報巡回

市の大火記念日である4月8日(日)に一斉広報巡回として防火パレードと夜間広報巡回を行います。

- 日時**
- ・防火パレード 4月8日(日)午前9時～11時
 - ・夜間広報巡回 4月8日(日)午後6時30分～8時
- 場所**
- ・防火パレード 市内のこども園を巡回
 - ・夜間広報巡回 市内一円
- ☎ 消防署警防課 (64・4898)



◀詳しくはこちら



大火記念日の由来

- **由来となった明治21年の大火**
 明治21年4月8日に旧大野町で大規模な火災が発生しました。火元は横町の湯屋で、強風により火の手が町全体へ広がり1113戸が全焼。学校や裁判所などの公共施設も焼失しました。
- **繰り返された悲劇とその後のまちづくり**
 明治32年にも、741戸が全焼する大規模な火災が再び発生。これらを教訓に大野町は火災に強いまちへの改革に取り組みました。
- 【取り組み例】

 - ・六間通りや石灯笼通りの幅を広げる
 - ・屋根を燃えやすい板葺から瓦葺に替えるよう奨励

大野の未来、あなたの力で切り開こう

大野市職員募集 令和9年 4月採用

令和9年4月に採用予定の市職員採用候補者試験(前期日程)を行います。大野市の未来を共につくる、熱意ある皆さんの応募をお待ちしています。

申込期間 4月10日(金)～5月7日(日)

試験日時 1次試験 5月30日(土)午前9時～
2次試験 7月2日(日)(予定)

申込方法 専用フォームで申し込む

その他 詳しくは募集要項を確認してください



▲募集要項や申し込みはこちら

◆ 試験区分や採用予定人数など

試験区分	採用予定人数	年齢要件	業務内容	資格など
事務 (うち障がい者対象)	6人程度 (1人程度)	平成8年4月2日～ 平成17年4月1日生	一般行政事務	必要なし
技術(土木)	2人程度	平成3年4月2日～ 平成17年4月1日生	土木に関する 専門業務 および 一般行政事務	必要なし
保育士	1人程度	平成8年4月2日～ 平成19年4月1日生	保育所での 保育業務	保育士の資格を取得している人 (令和9年3月31日(日)までに取得見込みを含む)
消防	1人程度	平成8年4月2日～ 平成17年4月1日生	消防業務	視力や聴力などの身体要件があります

※9月ごろに高校卒業程度を対象とした後期日程(事務、技術、消防)の試験も予定しています。詳細が決まり次第案内します

☎ 総務課 (☎64・4820)、消防本部総務課 (☎64・4897)



山火事を防ぐために 山火事を 起こすも防ぐも 私たち

4月1日から5月15日まで、山火事予防運動を実施します。春は空気が乾燥し、強風により火災が広がりやすい季節です。貴重な森林を守るため一人一人が火災予防を意識してください。

◆山火事を防ぐためのポイント

- ・ 枯れ草がある場所や強風、乾燥時には屋外での火の使用を控える
- ・ 火気を使用する際はその場を離れず、使用後は完全に消火したことを確認する
- ・ 火遊びは絶対にしない、させない

◆火入れを行う際の義務

森林の中や森林から1[㌦]以内の土地で火入れを行う際は、事前に農業林業振興課(☎64・4818、市役所1階◎番窓口)に許可の申請が必要です

◆林野火災注意報・警報の運用

本市では林野火災発生の危険性が高まった際に、注意報や警報を発令します。

・注意報発令時の注意事項

野外での火気使用を控え、森林から1[㌦]以内での火入れは行わないでください

・警報発令時の禁止事項

野外での火気使用を禁止します

☎ 消防署予防課 (☎64・4899)

公共交通がさらに使いやすくなりました

京福バス大野線を拡充

4月1日頃から京福バス大野線のダイヤが変わります。詳しくは広報おおの4月号と同時配布の「大野市鉄道・バス総合時刻表」かホームページを確認してください。

主な変更点

- ・午後5時30分福井駅発の後に午後6時15分発の便を新設
- ・午前6時55分福井駅発の便を新設
- ・済生会病院発着便を廃止し、全便が福井駅⇄ヴィオ間で運行
- ・鉄掛停留所を廃止し、全便が大野高校前を通るルートで運行



▲詳しくはこちら

越美北線利用促進助成を拡充

4月1日頃から越美北線利用の定期券と回数券の購入費への助成を拡充します。

対象 ・有効期間開始日が4月1日
困以降の定期券

・購入日が4月1日困以降の回数券
 ※九頭竜湖駅から福井駅区間に限る
助成額 購入額の2分の1

乗合タクシーの停留所を追加

4月1日頃から乗合タクシーの停留所やダイヤが変わります。詳しくは広報おおの4月号と同時配布（一部地区のみ）の「乗合タクシー時刻表」かホームページを確認してください。

主な変更点

- ・まちなか停留所に「あつ宝んど」「ヴィオ」を追加し、四つの路線全てで停留
- ・四つの路線全てのまちなか停留所を共通化
- ・ダイヤの一部を改正



▲詳しくはこちら

交通支援の申請は済んでいますか？

令和7年度中に支援を受けた人に、令和8年度用の申請書を3月中に送付しています。同封の返信用封筒で返送すれば、市役所に来庁せずチケットなどを受け取れます。令和8年度も利用する人は忘れずに申請してください。

☎ 交通住宅まちづくり課

64・4815

越美北線の利用促進活動に最大20万円補助

補助内容 補助率：10割 補助上限額：20万円
〈取り組みの例〉

- ・イベントでの越美北線利用促進活動
 - ・越美北線沿線の美化活動 など
- 対象** 越美北線の利用促進に取り組む市民で構成する団体

募集件数 3件程度

応募方法 次の書類を事務局（市役所1階①番窓口 交通住宅まちづくり課）まで提出する

- ・事業内容が分かる書類（実施要領など）
- ・事業計画書

・収支予算書

※事前相談の上、申請書類を提出してください

※申請書類は窓口で配布するほか、ホームページからもダウンロードできます

募集期間 4月1日（火）～12月28日（日）

※予算額に達し次第、募集終了

☎ 越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会（交通住宅まちづくり課）
 内 64・4815



▲詳しくはこちら

4月6日～15日は春の交通安全県民運動

交通ルールを守り、正しい交通マナーを習慣づけ、安全で安心なまちづくりを目指しましょう。

●ドライバーの皆さんへ

- ・通学路や生活道路では、歩行者の安全に特に気を配る
- ・横断歩道近くに歩行者がいる場合は、必ず一時停止する
- ・飲酒運転やスピード違反など危険な運転は絶対にしない

●自転車利用者の皆さんへ

- ・自転車乗車時はヘルメットを着用

する

・スマートフォンを見ながらの運転や傘さし運転、夜間の無灯火運転などの危険な運転はしない

【注意】

4月1日頃から、16歳以上の自転車の交通違反に対する交通反則通告制度（青切符）が始まります。携帯電話の使用や並進、一時不停止などの違反が反則金の対象となります。改めて自転車の交通ルールを確認しましょう。

☎ 市民生活・統計課 64・4831

空き家の悩み解決しませんか 空き家相談会

空き家の利活用、相続、契約などの悩みや不安に、宅地建物取引士や司法書士、市の担当者が応じます。空き家の利活用や、空き家が周囲に悪影響を及ぼさないようにするには、所有者の早期決断が重要です。

日時 4月30日(木)、5月1日(金)午前9時～正午、午後1時～4時40分

場所 市役所市民ホールまたはオンライン

対象 市内にある空き家の所有者、管理者、土地所有者、今後市内に空き家を所有することが見込まれる人

相談内容(例)

- ・空き家の利活用に関すること
- ・住宅のリフォーム、耐震診断、住宅診断
- ・空き家情報バンク制度の利用と登録
- ・相続や契約の手続き
- ・市の助成制度

- ・利活用
- ・リフォーム
- ・耐震診断
- ・相続
- ・空き家情報バンク
- ・助成制度

参加料 無料

申込方法 電話か専用フォームで申し込むか、防災防犯課(市役所2階②番窓口)またはホームページにある申込用紙に必要事項を記入し、持参か郵送、ファクス、メールで申し込む

その他 相談当日は、建物の外観写真や図面、登記簿、賃貸借契約書、相続関係説明図などの参考資料をできるだけ持参してください

☎ 防災防犯課 (64・4800)

FAX 66・7708

〒 912-8666 (住所は書かなくても届く)

電子メール

bosai@city.fukui-ono.lg.jp



▲詳しくはこちら



お母さんの免疫で、赤ちゃんを守りましょう

RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種 開始

4月1日(木)から妊婦を対象とした「RSウイルスワクチン」が定期接種(公費負担)の対象となります。母親がこのワクチンを接種することで、母親の体内で作られた抗体が、胎盤を通じて胎児に伝わり、出生後にRSウイルスに感染した際の重症化を防ぎます。対象となる人は接種の検討をお願いします。

対象 接種時に妊娠28週0日～36週6日の市民

※過去の妊娠時に接種経験がある人も対象

費用 無料

接種時の持ち物 ・予診票(妊娠届出時に窓口で配布 ※3月31日(木)までに妊娠届出をした人には郵送しています)

・母子健康手帳

・現住所が確認できるもの(マイナンバーカードや運転免許証など)

RSウイルス感染症とは?

多くの乳幼児が2歳までに一度は感染するといわれている呼吸器症状を引き起こすウイルスです。

主な症状

発熱や鼻水、咳などの症状が数日間続きます。

注意点

初めて感染した乳幼児の約3割は、咳が悪化したり呼吸が苦しくなったりと、重症化する恐れがあります。

発熱
鼻水
咳



☎ 健康長寿課 (65・7333)

接種費用が
無料に

